

2024 年度 「中国 大連通信」

2025 年 2 月 28 日

駐大連北九州市経済事務所

◆所 長 瀧口 達弘 ◆副所長 松江 拓尚

◆副所長 呂 俐 ◆職 員 畢 偉宸

松江 E-mail: fusuo Zhang@kitakyusyu-dl.com

～中国におけるシルバー産業～

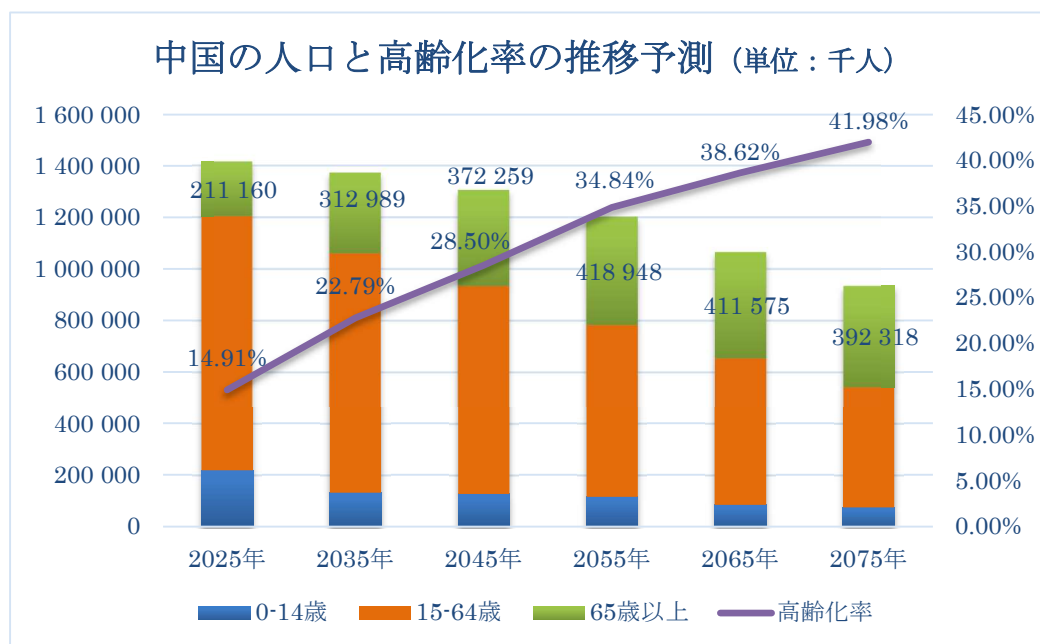
中国でも日本と同様に高齢化の波が押し寄せ、高齢者世代向けの市場が拡大、中国国内では「銀髪経済」とも呼ばれ注目を集めています。

高齢化社会に伴い「銀髪経済」向けの展覧会なども多く開催されており、今回は中国における高齢化社会の実情とシルバー産業（銀髪経済）について紹介させていただきます。

■中国の高齢化社会

中国では、一人っ子政策や急速な経済発展・都市化などの影響を受け出生率が年々減少し、2022年には人口減少に転化、翌2023年にはインドと人口が逆転し人口数は世界第2位となりました。

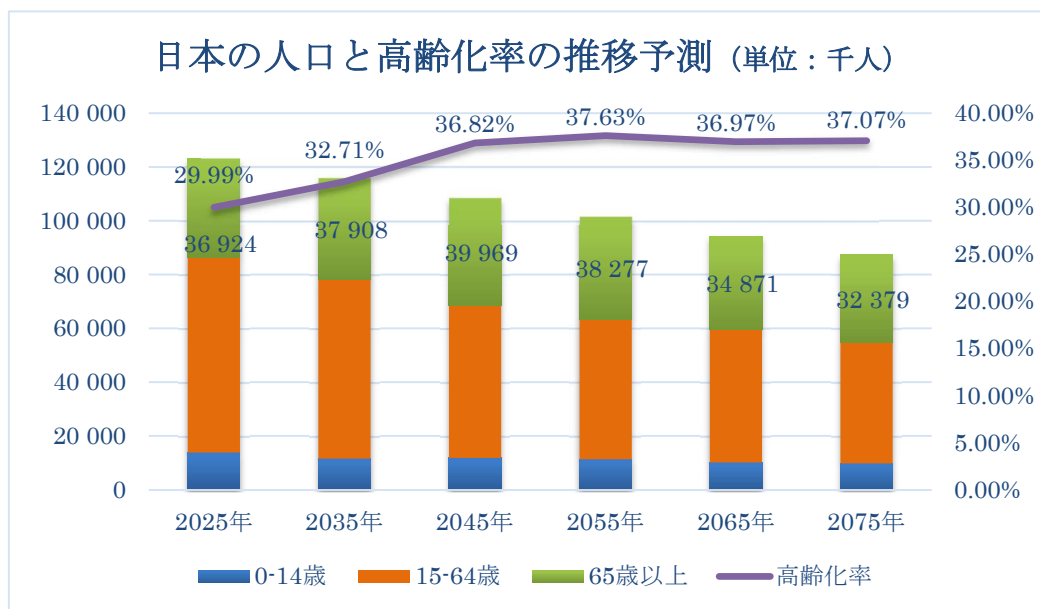
高齢化も急速に進んでおり、高齢者数は2025年は約2億1千万人、30年後の2055年にはほぼ倍増の約4億1,900万人となり、人口の凡そ3人に1人が高齢者になると予測されています。



出典：国際連合「World Population Prospects 2024」より作成

日本と比較すると日本の方がより高齢化が進んでおり、2025 年の高齢化率は既に約 30%に達しています。2045 年頃から高齢化率は 37%前後で高止まりし、高齢者人口の減少が見込まれています。

中国では、今後も高齢化が進み続け高齢者人口は 2055 年ごろにピークを迎え、その後減少するものの約 4 億人を維持し推移します。現在でも既に日本の人口の倍に近い 2 億 1 千万の高齢者がいますが、今後は更に増加する為、シルバー産業の大きな需要拡大が見込まれます。



出典：国際連合「World Population Prospects 2024」より作成

■中国シルバー産業でビジネス展開する上でのネック

昨年の 11 月に中国国内で大規模なシルバー産業関連の博覧会があり視察してきました。そこには日系企業も多く参加しており、中国シルバー産業における事業展開についてヒアリングして参りましたのでここで紹介させていただきます。まず、中国のシルバー産業でビジネスする上で考慮すべき事として多くの企業から挙げられたのが以下の 2 点です。

- ① 低コストの中国製品
- ② 中国製品の品質向上



※出展している日系企業ブース

例えば下記写真の車いす（株式会社カワムラサイクル：兵庫県神戸市）を例にすると、当社の製品は使用素材にこだわり、軽くて丈夫、操作性に優れている事が特徴ですが、価格面では中国製品に劣位しており、加えて近年では中国製品の品質も大きく向上しており、競争が激化しているとの事です。

昔は多少高くても日本製というだけで売れていた時代もありましたが、安価かつ質の高い中国製品の台頭により、近年では日本製というだけでは売れなくなっている現状があるとの事です。



※株式会社カワムラサイクルの車いす

他には日本と中国の違いとして、

③ 公的介護保険の有無

を挙げる企業もありました。日本では、公的介護保険を活用することで特定福祉用具の購入に補助がありますが、中国の公的介護保険制度はまだまだ整備途上であり、ニーズがあっても金銭的負担から購入を見送る人も一定数いるとの事です。

また上記以外には、④中国の景気低迷・消費の落ち込み、⑤外資企業優遇政策の縮小なども挙げられました。これら2つはシルバー産業に限った話ではありませんが、中国でビジネスする企業において共通の課題といえます。

■日系企業の活路

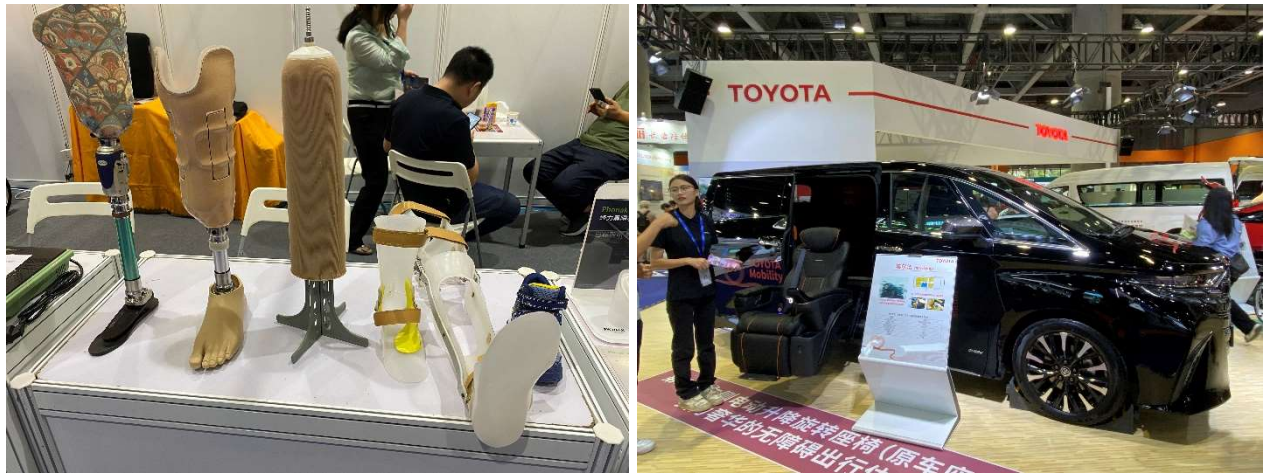
ヒアリングの中で複数挙げられた中国シルバー産業でビジネス展開する上で重要な事、追い風となっている事をそれぞれ一つずつ紹介します。

① 展示会・博覧会などに参加すること

中国ではECが普及し多くの商品がネット上で購入が可能で、福祉用具も例外ではありません。価格面では多くの場合、中国製品に優位性があり、ECでは価格勝負になりがちのため中国製品に苦戦することが多いとの事です。

そこで重要なのが、展示会などで実際に商品に触れてもらい体験してもらう事です。ECサイト上では分からない製品の良さを感じてもらえ、購入してもらえる機会は格段に増えるとの事です。

そして市場調査という意味合いでも展示会への参加は有用で、自社の製品が中国人にいかに関心されるのか、それと同時に現地企業がどのような商品をどのようなスペックで出しているのかも一度に分かる為、ビジネス展開を考えている場合、まずは展示会に出展してみることが不可欠との事でした。



※義足や福祉車両など多岐にわたる製品が出展

② 中国自治体の福祉用具貸出サービス

中国では上記で紹介したように、公的介護保険制度は整備途上ではありますが、高齢化に伴い近年では福祉に注力する自治体も増え始め、住民向けの福祉用具の貸出サービスが普及してきています。

自治体は福祉用具を貸し出すにあたり、福祉用具の入札を行います。貸出という目的から価格面だけではなく耐久性なども重視します。その為、多少値段が高くても耐久性などの品質に分がある日本の製品にも大いに勝機があり、実際に自治体に福祉用具を納入している企業もありました。中国の自治体は人口が多く規模が大きいため、相応の取引量が見込めることも魅力との事でした。

■2025 年の主な展示会予定

1. 【China Aid】上海市 2025 年開催予定日：6 月 11 日～13 日
昨年参加企業数：450 社、来場者数：5.7 万人
2. 【日中(山東省&日照市)高齢者産業交流会】山東省 2025 年開催予定日：未定
昨年参加企業数：130 社（うち日系企業 23 社）、来場者数：不明、昨年 7 月 31 日～8 月 1 日開催
3. 【国際養老健康産業博覧会】広州市 2025 年開催予定日：8 月 22 日～24 日
昨年参加企業数：500 社、来場者数：7.6 万人
4. 【大連日本商品展覧会（日中健康産業協会）】大連市 2025 年 9 月 12 日～14 日開催予定
昨年参加企業数：300 社、来場者数：6 万人¹
5. 【中国国際福祉博覧会】北京市 2025 年 9 月 12 日～9 月 14 日
昨年参加企業数：360 社、来場者数：4 万人超

¹ 大連日本商品展覧会は、シルバー産業に特化したイベントではなく食品や日用品などあらゆる商品が出展可能。参加企業数及び来場者数はイベント全体の数字。

6. 【日本老年産業博覧会】重慶市 2025 年 11 月 7 日～9 日開催予定

昨年参加企業数：300 社超、来場者数：不明

7. 【中国国際シルバー産業博覧会】広州市 2025 年 11 月 20 日～22 日

昨年参加企業数：550 社超、来場者数：7 万人超

今回挙げた展覧会は全て、中国国内で開催されるシルバー産業関連の展覧会・博覧会です。もちろんシルバー産業のみに関わらずお手伝いさせていただきますので、少しでも関心があればまずは視察だけでも是非中国にお越し下さい。